

# 平成 28 年度 研究計画書

Research Plan FY2016

DATE : 2016 年 6 月

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語日本文化教育センター・教授
氏名 Name	岸田泰浩
専門分野 Academic Field	言語学

## 平成 28 年度 研究計画 (ホームページで公開) Research Plan FY2016 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	コーカサス地域の言語研究 明証性の類型論的研究、格助詞の理論言語学的研究				
研究計画 (400 字~500 字で記入すること。) Research Plan (Approximately 100 Words) 類型論および言語接触という観点から所与の言語に特有と考えられる特徴の探求を主要テーマとして研究をおこなう。今年度は、アルメニア語の e ラーニング教材および電子版学習辞典の開発を継続しながら、グルジア語の e ラーニング教材および電子版学習辞典の開発についても検討していきたい。グルジア語も独自の文字を持つが、その文字は、アルメニア語と同じようにアルファベット式であり、その点ではアルメニア語の教材開発で得たノウハウを容易に利用できるものと考えられる。ただし、当該の二言語は、文法体系がかなり異なるため、グルジア語について、どの文法項目をどのような順序で排列するか、また、電子版辞書に含める文法情報をどのようなものが必要となるかについては、改めて考えていく必要がある。「明証性」(evidentiality)の研究については、収集した言語データをデータベース化していくとともに、類型論的見地から考察を進める。さらに、「格」の研究とも合わせ、それらが最近の理論言語学の知見の枠組みにおいてどのような位置付けが可能であるかについてもさらに検討していきたい。					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	言語学 (一般・コーカサス)	日本語学 (現代)	外国語教育	日本語教育	
キーワード Keywords*2	類型論	evidentiality	格	アルメニア語	グルジア語

※共同研究可能な分野は、別表科研費細目表の細目名に地域や時代を付して記入願います。